

【高等学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度(評価)
A:十分達成できている C:やや不十分である
B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名	佐賀県立鳥栖工業高等学校【定時制】
-----	-------------------

1 前年度 評価結果の概要(簡潔に)	・自分の可能性を信じ、主体的に積極的に取り組み、活動できる生徒の育成に対し、引き続き取り組んでいきたい。
-----------------------	--

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	県内唯一の工業科・普通科を併置する定時制高校として、個々の学びのニーズに応じた、きめ細かな指導を通して、広い視野を持った社会に貢献できる人材を育成する。
----------------------------	--

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー	4 本年度の重点目標
	① 働きながら学ぶ意欲に満ち、落ち着いた真面目に学習活動に取り組む生徒を求めます。 ② 学校のルールを守り、社会生活の基本を身につける意欲に満ちた生徒を求めます。 ③ 学ぶことの意味を考え、学びを通して自らを高める努力を惜しまない生徒を求めます。 ④ 各種検定や資格取得にも意欲的に取り組むことができる生徒を求めます。	① 生徒個々のニーズに対応した教育課程の編成を行い、適宜、見直しや創意工夫に取り組みます。 ② 生徒の実態に応じた教材の精選、指導の工夫・改善、能力に応じた個別最適な学び等、分かりやすい授業の実践に取り組みます。 ③ 基礎学力の定着と専門教育の充実を両立、学習意欲の向上及び読解力を身につけます。 ④ 各種資格取得の意義を理解させ、生徒の主体的な取り組みを図ります。	① 働きながら学ぶ生活を通して、基本的な生活習慣の確立した生徒を育成します。 ② 生徒集団の中で、他者との触れ合いを深め、思いやりのある生徒を育成します。 ③ 学習意欲を向上させ、主体的・自主的な学習態度及び読解力を育成します。 ④ 学習内容を明確化して、専門性の基礎・基本を重視した指導を行い、創意工夫のできる実践的な技術者を育成します。	ア 基本的な生活習慣の確立を図る。 イ 学習意欲を向上させ、主体的・自主的な学習態度及び読解力を育てる。 ウ 進路指導の充実を図る。 エ 健康管理とスポーツの振興を図る。 オ 志を高める教育の推進を図る。

5 重点取組内容・成果指標				中間評価		最終評価		主な担当者
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
●学力の向上	○主体的に基礎学力向上に取り組む環境を整備し、取り組みを支援する。	○「計算力アップトレーニング」や各授業における基礎学力定着時間の積み重ねにより、基礎学力の向上を実感した生徒80%以上	・週に1回程度、「計算力アップトレーニング」を実施し、昇級制度により生徒の達成感を感じさせる。 ・各教科において、基礎学力定着の時間を確保する。					教務部
	○主体的に資格取得に取り組む環境を整備し、取り組みを支援する。	○資格取得に主体的に取り組むことで、学習への意欲が高まった生徒80%以上 ○検定資格合格率70%以上、国家資格取得率50%以上	・専門科目の授業において、資格取得に対する動機づけを随時行う。 ・生徒のやる気に応じて、補習授業や個別指導を随時行う。					工業科
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○基本的人権の尊重を重視できるようになったと回答した生徒80%以上 ○道徳教育の全体計画に基づいて授業を行った教員80%以上	・ホームルーム活動等において、人権・同和教育や進路保障の学習会を実施する。 ・人権・同和教育に関する講話を計画的に実施する。					進路指導部 人権・同和教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・いじめ対応についての職員研修を前期と後期に実施する。 ・定期的に学校生活アンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。					生徒指導部 管理職
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	○「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒80%以上	・「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む。 ・郷土の人材を活用した講演会を実施する。					教務部
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	○保健体育の授業や体育的行事等に積極的に取り組むことで、運動に対する重要性を実感したと回答した生徒80%以上	・体育の授業において、主体的により多くの種目に取り組むことができる環境を整備する。 ・保健の授業と体育の授業を連携させて、運動と生活習慣の関係に対する理解を深めさせる。 ・クラスマッチやスポーツフェスティバル等の学校行事を生徒主体で運営させ、地域社会の体育的行事にも積極的に参加できるように促す。					保健体育科
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上 ●朝食をほぼ毎日食べる生徒80%以上 ●給食をほぼ毎日食べる生徒65%以上(令和6年度は58%)	・生活状況調査、食に関する意識調査等の実施 ・保健便りの発行 ・保護者への個別の連絡 ・給食室内の配置の工夫					保健厚生部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・管理職の積極的な休暇取得					管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員90%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、関係者間での情報共有					保健厚生部 特別支援コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合90%以上、教職員の割合90%以上 ★県外からの入学者数1人以上	・生徒が主体となって活動できる機会を多く設ける。 ・積極的に、中学校を訪問し、中学校現場における定時制教育への理解を深める。 ・中学生向けの見学会を随時開催する。					
	★将来を見通したキャリア教育の充実 ★希望進路実現のための個別最適な進路指導	★進路意識が高まったと感じる生徒80%以上 ★卒業年次生の進路実現率80%以上	・キャリア教育講演、進路講演等において、生徒の実態に応じた内容を取り入れる。 ・学級担任、科、進路指導部(全・定)で連携を図りながら、生徒一人ひとりに最適な進路指導を行う。					進路指導部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望(簡潔に)	
---------------------	--